

通信や暮らしを支える 縁の下の力持ち



株式会社サンテック東北

取締役 / 杉山 繁

所在地 / 宮城県黒川郡大和町落合三ヶ内字
北沢54-8

T E L / 022-344-2420

事業
テーマ

【平成29年度補正】
5G通信網の基地局整備に伴う
アルミ電解コンデンサ座板の高度化事業



新設備の導入で安定した製品のさらなる増産を目指す



製品の品質を保つためにはやはり人の目は欠かせない

株式会社サンテック東北 取締役 杉山 繁 氏

信条 相互信頼

会社の強みは何ですか？



座板を作って20数年になりますが、その生産に特化してきたので、年々厳しくなるお客様の要求に応えています。

今後の目標を教えてください。



10年前は月間2億個、現在は3億個と順調に増えてきたので、次の目標は4億個。その生産ができる工場を目指したいと思います。



最終商品の小型化の影響で、組み込まれる部品も小型化が求められる

あらゆる電気回路に存在する アルミ電解コンデンサを支える

サンテック東北は1988年に(株)三協東北として設立。2015年にサンテック東北に社名変更した。当初は精密機械関係の金型部品の加工を行っていたが、今は1992年にスタートしたプラスチックの成形と、エンボスキャリアテープ(携帯電話や精密機器の電子部品などの搬送用梱包資材)の生産を行っている。成形は専ら、アルミ電解コンデンサの座板を生産している。電気を蓄えたり放出したりする電子部品であるコンデンサは、ほとんどの電気関係の回路に使われており、様々なサイズに合わせて月に約3億個をこの工場で生産し、国内の電解コンデンサメーカーほぼすべてに納品している。

より小さく、より薄く、顧客の 要求に応える高品質な製品を

携帯電話は言うに及ばず、最終製品がどんどん小さくなっていくなか、座板にもさらなる薄さと品質が求められる。今回の事業では、①成形材料を従来のPPS(ポリフェニレンサルファイド)からコストパフォーマンスに優れたPPA(ポリフ



2020年のその先へ様々な設備投資を役立てる

タルアミド)へ転換、②ガラス繊維の含有率アップによる強度向上、③座板の薄肉化に向けてCNC高速高精度射出成形機を導入した。特に③の薄物成形では最も薄い部分は0.15mmで透けて見えるほどのものになる。そのために成形加圧時の真直性・高い平行度・面圧の高い均一性と射出速度のスピードが求められ、導入した機械では想定どおりの製品が安定して生産できるようになった。生産数も月2500万個から2700万個まで増えている。

5G環境やIoT進化で生まれる より快適な社会のために

「アルミ電解コンデンサは、2020年から世界的に本格化する『5G通信の基地局向け』の需要が一気に拡大すると聞いています」と杉山取締役は語る。その流れに乗れば



薄い部分まで樹脂が行き届き不良率も改善された

更なる増産体制が求められる。その時に高品質の製品を安定して供給していくことが、現在のシェアを維持、そして拡大していく際の鍵となる。

今回の設備投資はそのための足掛かりだ。「今後は海外のユーザーに向けても販路を拡大できればと思っています」。市場は国内だけでなく、今後インフラ整備の進む途上国にも広がって行く。その要求に応え、雇用などで地域社会にも貢献していくことがこれからの目標だ。



お客様にきちんといいものを納品できる現場でありたい